

SOCIAL-WELFARE TOTAL SUPPORT KOUYOU-KAI GROUP

施設案内

社会福祉法人
向陽会



やまびこ医療福祉センター



みなよし療護園



たらちね学園

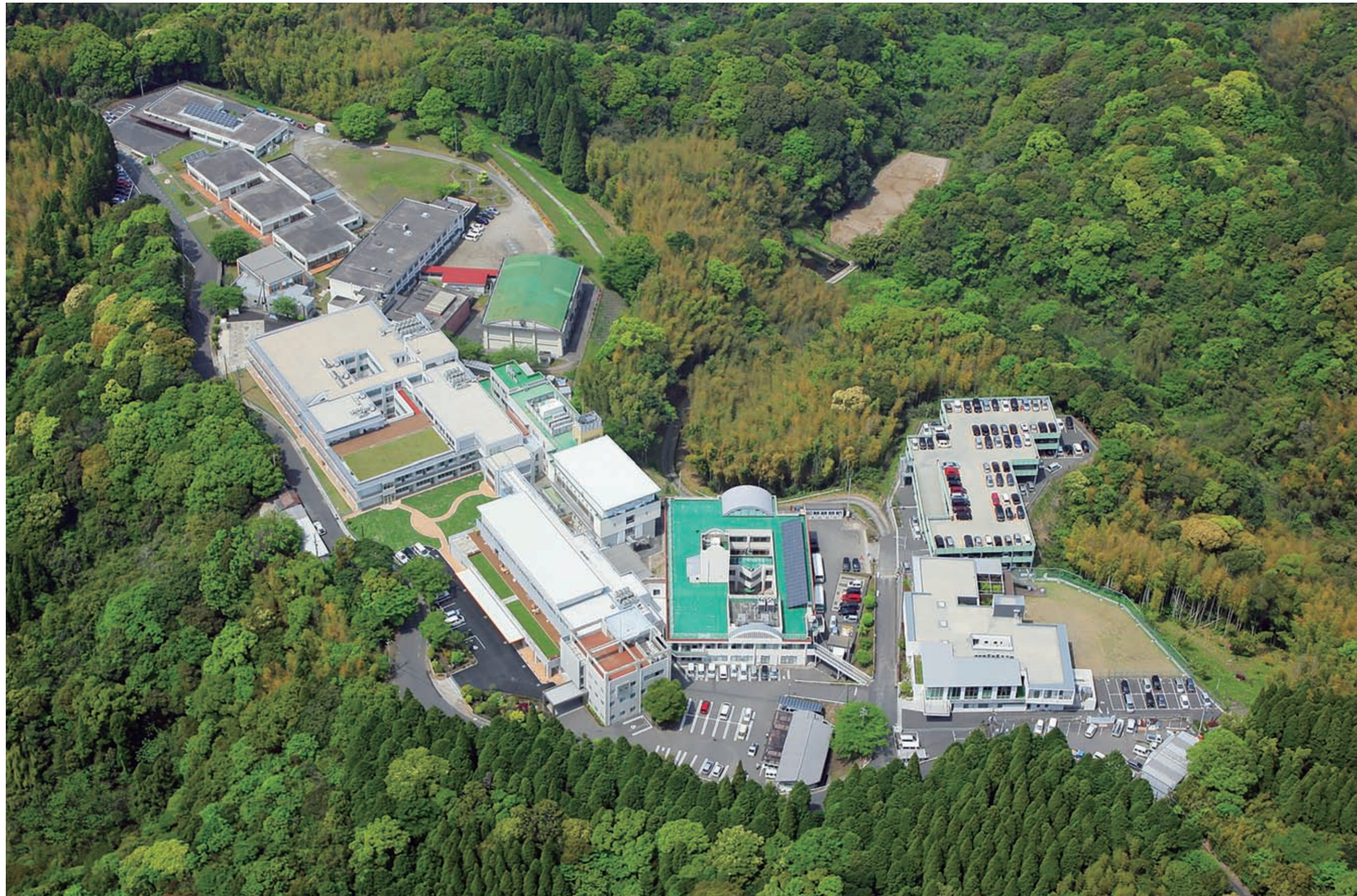


ひまわり病院



ろうそくの灯は小さくとも
あたりを照らさねばならない

青山恵眞



利用者、市民、地域社会への貢献と 独自性の発揮

当法人は、鹿児島市の開業医 青山恵眞が、終戦後の荒廃の中、幸薄き人々に私財を投じて、1953年(昭和28年)2月に虚弱児施設「たらちね寮」(現在のたらちね学園)を創設したのが始まりであります。

この後1964年(昭和39年)に肢体不自由児施設「やまびこ整肢園」(現在のやまびこ医療福祉センター)の創設と同時に、法人としての許可を受け、初代理事長に就任しました。

以降、第2代 本重尚雄、第3代 本重博史理事長へと受け継がれています。

理事長挨拶 GREETING

Hiroshi Motoshige

必要とされるが供給が不足している 分野、事業に先駆的に取り組む

当法人は太平洋戦争に軍医として召集され奇跡的に生還した創設者・青山恵眞が戦後巷にあふれる孤児・栄養失調児を目の当たりにし虚弱児施設「たらちね寮」を創設したことから出発しました。「ろうそくの灯は小さくともあたりを照らさねばならない」という思いで奮闘しました。その後実弟・本重尚雄(2代目理事長)と協力して1964年鹿児島で民間初の肢体不自由児施設「やまびこ整肢園」を創設しました。当時ポリオという疾患の後遺症で肢体不自由児(小児麻痺)が激増しその対策が急がれていたため、100床でスタートも対象児の増大のため1969年170床に増床となりました。

1972年創始者・青山恵眞死去、本重尚雄(開業医)がその事業を引き継ぐことになり、彼は事業の立て直しに尽力し1979年に現在地・鹿児島市皆与志町に「やまびこ整肢学園」(改名)・1981年に「たらちね学園」の新築移転を成し遂げました。

時代は医療の進歩とともに肢体不自由児の減少・重症心身障害児の増加が起り、1986年「やまびこ整肢学園」は肢体不自由児施設(100床)と重症心身障害児施設「やまばと学園」(70床)に再編、徐々に肢体不自由児定員減・重症心身障害児定員増が始まります。同時並行的に肢体不自由児施設退園後の処遇、医療機関・在宅の障害者の受け入れ先として1994年身体障害者療護施設(現障害者支援施設)「みなよし療護園」を設立しました。リハビリの重要性を考え1996年「ひまわり病院」設立、重症児通園事業開始、1998年やまびこ整肢学園を廃止、重症心身障害児施設「やまびこ医療福祉センター」として再スタートとなりました。2018年4月から肢体不自由児者の整形外科手術の開始、2019年4月からは鹿児島中央駅近くのひまわり病院でも手術開始、併設して重症心身障害児者をメインとした「障害児・者相談事業」「児童発達支援」「放課後デイサービス」「生活介護」の各通所サービスをスタートさせました。

歴史を長々と書き綴りましたがその主旨とは当法人が「必要とされるが、供給が不足している分野、事業に先駆的に取り組むことが社会福祉法人の役割である」という考えのもとに活動し、今後も努力を続けていこうとしていることです。

関係各位の皆様におかれましては、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



役割 ROLE



法人として利用者へ、地域社会・一般市民に期待されている次のことを重点に取り組めます。

- 社会福祉の基本理念に従い、基本的人権と利用者個々の人格を尊重し、良質なサービス提供の実践に努めます。
- 健全で活力ある法人運営に努めるとともに、関係機関と協調し地域社会に貢献する取り組みをおこないます。
- 時代の趨勢に目を向けニーズ把握に努め、既存の形にとらわれない柔軟なサービスの創造に取り組めます。
- 良質な職員の確保、専門性の向上と倫理観を高める人材育成に努め、働きやすい職場環境作りに取り組めます。

役員構成 DIRECTORS



- 理事長／本重 博史
- 理事6名・評議員7名・監事2名



沿革 HISTORY



- 1953年2月 鹿児島市原良町1530番地(現城西三丁目3番地1号)に虚弱児施設たらちね寮の創設
- 1964年2月 鹿児島市田上町1336番地に肢体不自由児施設やまびこ整肢園を創設 定員100名
- 3月 社会福祉法人 向陽会の設置許可
- 1969年4月 やまびこ整肢園の定員を170名に変更
- 1971年10月 やまびこ整肢学園、たらちね学園に改称
- 1979年1月 やまびこ整肢学園 鹿児島市皆与志町1779番地(現地)に新築移転
- 1981年4月 たらちね学園 鹿児島市皆与志町1776番地3(現地)に新築移転
- 1986年4月 重症心身障害児施設やまばと学園定員70名の設立 やまびこ整肢学園の定員を100名に変更
- 1991年4月 やまばと学園の定員125名 やまびこ整肢学園の定員45名に変更
- 1994年4月 身体障害者療護施設みなよし療護園 定員50名の設立
- 1996年9月 公益事業ひまわり病院(32床)の設立
- 1996年10月 やまびこ整肢学園 重症心身障害児・者 通園事業-B型の開始
- 1998年4月 やまびこ整肢学園を廃止 重症心身障害児施設に統合 定員170名として名称を「やまびこ医療福祉センター」に改称 児童福祉法の改正により虚弱児施設を児童養護施設へ変更
- 2003年7月 やまびこ医療福祉センターの別館・管理棟増築工事竣工 定員を20名増の190名に変更
- 10月 やまびこ医療福祉センター 重症心身障害児・者 通園事業-B型をA型へ変更
- 2006年10月 身体障害者更生援護施設みなよし療護園(障害者自立支援法施行による障害者関係事業体系の再編)
- 2008年4月 児童養護施設たらちね学園の定員を45名から40名に変更
- 2010年4月 障害者支援施設みなよし療護園(新体系移行)
- 2012年4月 やまびこ医療福祉センターを重症心身障害児施設から療養介護事業と医療型障害児入所施設へ、重症心身障害児・者通園事業を生活介護事業と児童発達支援事業(多機能型)へ変更(障害者自立支援法改正に伴う体系移行)
- 2013年4月 やまびこ医療福祉センター 生活介護事業を「デイサポート 通所やまびこ」、児童発達支援事業を「発達サポート 児童デイやまびこ」、相談支援事業を「相談支援ステーション やまびこ」へ名称変更
- 2015年4月 やまびこ医療福祉センター 放課後等デイサービス事業設立
- 2019年4月 やまびこ医療福祉センター 児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業「発達サポート るっか」、生活介護事業「デイサポート るーちす」を設立(ひまわり病院併設)



各事業所へのアクセス

ACCESS

[乗用車]

鹿児島市街地方面から又は九州自動車道鹿児島北インターから国道3号線薩摩川内・いちき串木野市方面へ、河頭交差点より約3km

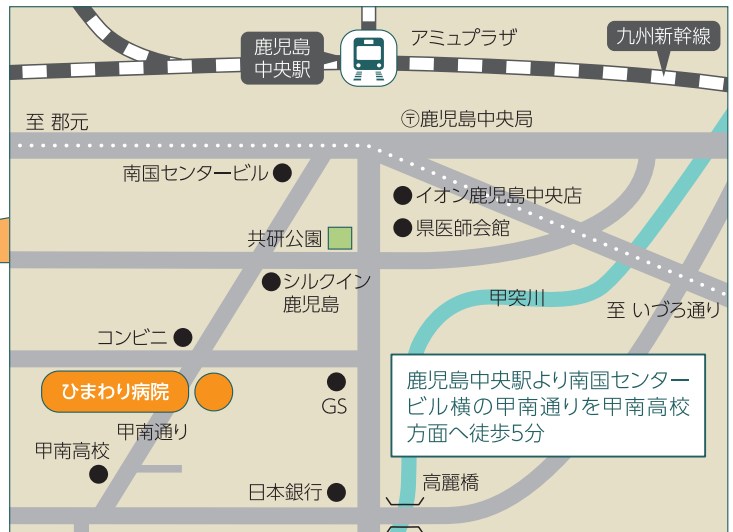
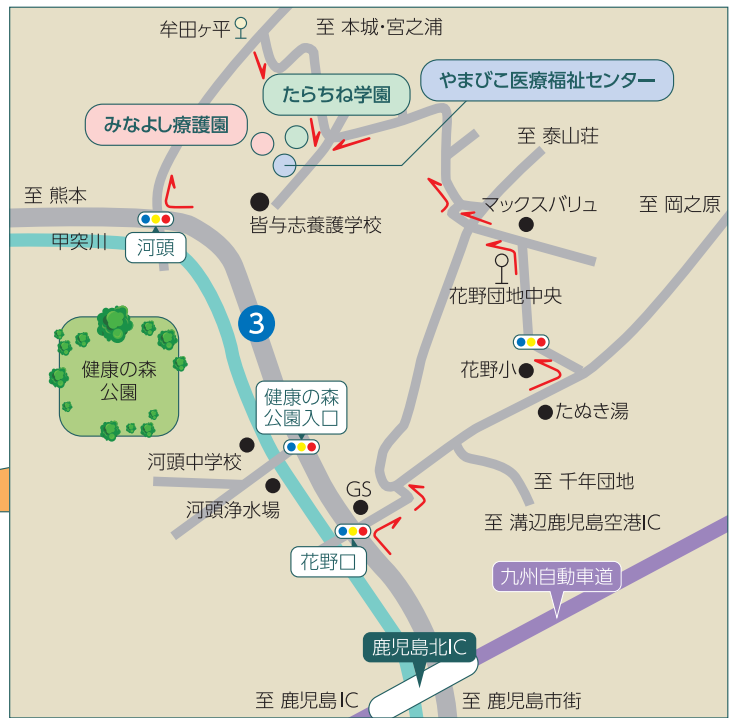
[交通機関]

□いわさきバスネットワーク

●千年団地・花野団地線(始発鹿児島駅から)で約40分、「花野団地中央」バス下車、徒歩約20分

●丸岡線(始発いづる通りから)で約35分、「牟田ヶ平」バス下車、徒歩約15分

□かごしま市コミュニティバス④あいばす (伊敷東部地域)皆与志町一西伊敷五丁目 ルート(月、水、金曜日)「医療福祉センター入口」バス下車



当法人では利用者が適切にサービス利用できる支援体制を設けております。

サービス利用に関する相談・苦情等に適切に対応するため、各事業所に「相談・苦情受付担当者」を配置しております。利用者個人の権利を擁護し安心して福祉・医療サービスをご利用いただけるよう努めております。(詳細は各事業所の掲示板に仕組みが掲示してあります)

社会福祉法人 向陽会 法人事務局

〒891-1206 鹿児島市皆与志町1779番地
TEL.099(238)4861 FAX.099(238)4861
<http://kouyou.or.jp>

やまびこ医療福祉センター

〒891-1206 鹿児島市皆与志町1779番地
TEL.099(238)2755
FAX.099(238)5134
mail:yifc-sou@crest.ocn.ne.jp

障害者支援施設 みなよし療護園

〒891-1206 鹿児島市皆与志町1778番地
TEL.099(238)3871
FAX.099(238)6250
mail:minayoshi@po5.synapse.ne.jp

児童養護施設 たらちね学園

〒891-1206 鹿児島市皆与志町1776番地3
TEL.099(238)5391
FAX.099(238)5390
mail:tarachinegakuen@skyblue.ocn.ne.jp

地域医療・福祉ステーション ひまわり病院

〒890-0052 鹿児島市上之園町20番2号
TEL.099(252)5166
FAX.099(252)5170
mail:himawari-hp@po5.synapse.ne.jp



医療型障害児入所施設・療養介護事業所



やまびこ医療福祉センター

児童福祉法並びに障害者総合支援法に基づく障害児入所と障害福祉サービス事業を行い、医療法による病院機能を併せ持った施設です。

概要

- 病床数 / 190床
- 一般病棟 (障害者施設等) 152床・療養病棟 38床
- 診療科目 / 内科・小児科・外科・整形外科・麻酔科・リハビリテーション科・歯科



施設の目的

利用者のために存在し、その運営は利用者本位に行われるとともに、人権や自己決定を尊重し、安全かつ安心して利用いただける質の高い障害福祉サービスの安定的提供に努めます。

施設の有する機能を駆使してノーマライゼーションの理念の基、地域福祉の推進に貢献し、誰もが共に暮らせる社会の実現に向けて取り組みます。



01 医療

内科医、小児科医、整形外科医等が治療にあたり、様々な症状や合併症、二次的な障害の予防に努めます。



02 リハビリテーション

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士により個々の状態に応じた機能(呼吸・摂食・日常生活動作・コミュニケーション等)の発達促進・回復改善を目指します。また、脳血管疾患等リハビリテーションや遊具を用いた感覚統合療法を行います。



03

看護・介護

「愛されているという 安心感の提供を目標に 細かに 穏やかに 心広く」を理念とし、一人ひとりの生命と生活を大切に守り、個々の病状・症状の程度に応じたケア計画に沿って、持っている力を引き出すケアを実践しております。



04

歯科治療・口腔衛生

歯科治療に際して特別な配慮が必要で、地域の一般歯科医院での対応が困難な方を対象として歯科治療を行っています。また、口腔衛生管理・健康指導を行いQOLの向上を目指しています。



05

生活支援

利用者一人ひとりの人生に寄り添い、人権を尊重し、あたたかい、やさしい心で向き合います。療育やふれあいを通して、日々の生活を充実させ、生活経験を拡大させる取り組みを実践します。



□施設の種類／医療型障害児入所施設 療養介護事業所 □医療機関名／やまびこ医療福祉センター



利用手続き

直接当センターへご相談下さい。センター受診には地域振興局または市町村への申請の必要があります。(申請に基づき利用負担金が決定されます。その他日用品費等の負担あり。)

やまびこ医療福祉センターが行う 在宅福祉サービス

生活介護事業

デイサポート 通所やまびこ

豊かな日中活動と生活を
支援します。

18歳以上の重度重複障害のある方や医療的ケアの
必要な障害がある方が通って日中活動を行う場です。

利用
定員 一日 20名

利用日 月曜日～土曜日(年末年始、国民の祝日を除く)

利用
時間 午前9時～午後5時



児童発達支援事業・放課後等デイサービス

発達サポート 児童デイやまびこ

いろいろな遊びや経験を通して
発達を支援します。

重症心身障害、肢体不自由等障害のある児童が
通って保育、療育を受ける場です。

利用
定員 一日 10名(各事業5名ずつ)

利用日 月曜日～土曜日(年末年始、国民の祝日を除く)

利用
時間 午前9時～午後3時
(放課後等デイサービスは午後5時まで)



特定・障害児相談支援事業

相談支援ステーション やまびこ

共に考え支援します。

障害のある方やその家族、障害児者を支援されている関係機関等からの相談をお受けします。また、障害福祉
サービスや障害児通所支援の利用に必要な「サービス等利用計画」を作成します。

※医療的ケア児等コーディネーター養成研修を修了した相談員を配置し、要医療児者の支援にあたります。

上記の事業は、やまびこ医療福祉センター内でおこなっております。

TEL.099(238)2755〈代表〉

and More

やまびこ医療福祉センターが行う 在宅福祉サービス

生活介護事業

デイサポート るーちす

いきいきと輝く豊かな生活を
支援します。

18歳以上の重度重複障害のある方や医療的ケアの
必要な障害がある方が通って日中活動を行う場
です。

利用
定員 一日 10名

利用日 月曜日～土曜日(年末年始、国民の祝日を除く)

利用
時間 午前9時～午後5時



児童発達支援事業・放課後等デイサービス

発達サポート るっか

個々の能力に応じた身体と
心の発達を支援します。

重症心身障害、肢体不自由等障害のある児童が
通って保育、療育を受ける場です。

利用
定員 一日 10名(各事業5名ずつ)

利用日 月曜日～土曜日(年末年始、国民の祝日を除く)

利用
時間 午前9時～午後3時
(放課後等デイサービスは午後5時まで)



上記の事業は、ひまわり病院内でおこなっております。

TEL.099(814)7353〈るーちす〉・099(814)7352〈るっか〉



明るく
住みやすく
希望のある
生活



障害者支援施設 みなよし療護園

「あたりまえ」の暮らしを提供する

障害者総合支援法に基づき利用者の意思および人格を尊重して常に当該利用者の立場に立った施設障害福祉サービスの提供を行う施設です。

生活介護・施設入所支援

常時介護を必要とする障害者の方が安定した生活を営めるように、食事、入浴、排泄等の介護や日常生活の支援を行います。



短期入所事業

もしもの時だけではなく、介護者の休息のためにも利用できるサービスです。

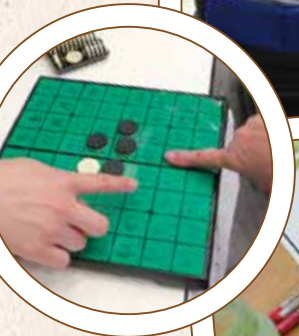


余暇活動・個別支援・行事

バラエティに富んだ行事活動(夏祭り、忘年会、寿司の日等)施設内での生きがいや楽しみを持って頂くための余暇活動、個別の要望に対する支援としてショッピング、実家への帰省、家族との交流など入所者の心に寄り添った支援に取り組んでいます。



みんなで
楽しく!
風船バレー



どんな色で
塗ろうかな?



機能訓練

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士により個々の状態に応じた機能低下防止に努めています。



充実した
設備で
サポート



Information

スタッフ

施設長/事務員/サービス管理責任者/生活支援員/看護師

お問い合わせ

障害者支援施設 みなよし療護園 ☎099(238)3871

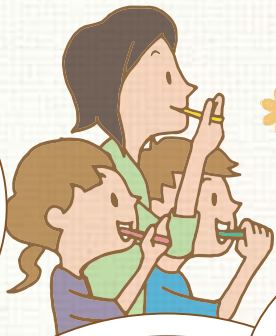
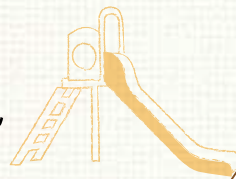




児童養護施設

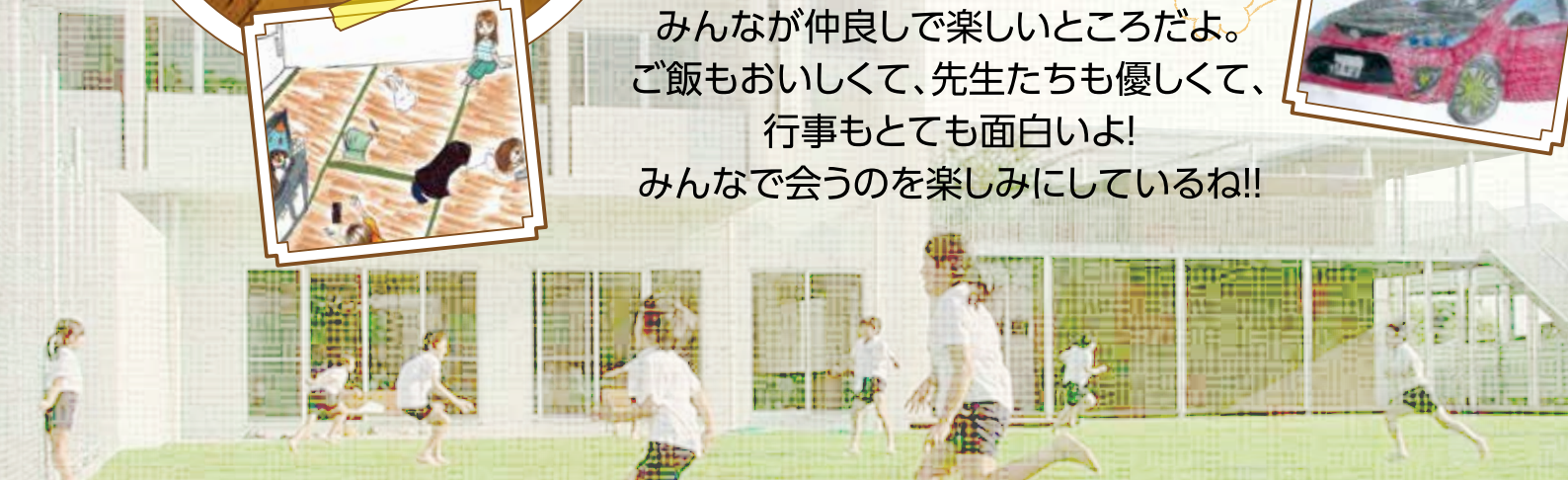
たらちね学園

たらちね学園で「暮らす」ってどんな生活なのかな？
たらちね学園では子ども達にとって安心・安全な生活を基本とし
学校の勉強や、遊びに一生懸命とりくんでいける…
そんな生活を提供します。



子どもの声

私たちが生活しているたらちね学園は、
みんなが仲良しで楽しいところだよ。
ご飯もおいしくて、先生たちも優しくて、
行事もとても面白いよ！
みんなで会うのを楽しみにしているね!!

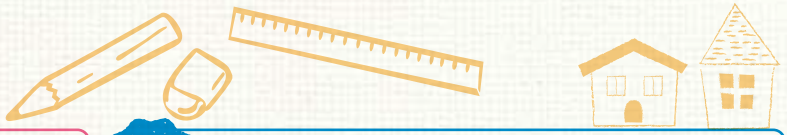


01 子ども達の日



起床	清掃	学習	自由時間	昼食	おやつ	自由時間	入浴	就寝

02 四季の活動・地域行事



春

- お花見会
- GW行事
- 皆与志幼・小・地域合同運動会

夏

- 児童養護施設球技大会
- BBQ大会
- そーめん流し

秋

- 十五夜
- ふれあい祭り
- 皆与志秋祭り

冬

- ウィンターパーティー
- 餅つき大会
- お別れ遠足

03 職員構成



施設長	
家庭支援専門相談員	
里親支援専門相談員	
児童指導員・保育士	
職業指導員	
個別対応職員	
心理士	
栄養士	
調理員	
嘱託医	
合計	

04 入所児童



	男	子	女	子
幼児				
小学生				
中学生				
高校生				
その他				
合計				

年 月 日現在



お問い合わせ 児童養護施設 たらちね学園 ☎099(238)5391





地域医療・福祉ステーション



ひまわり病院

難病患者、脳性麻痺患者および脳卒中後遺症患者様のADL改善のために必要な手術、リハビリ等の医療を提供する病院です。

概要

- 一般病棟(障害者施設等) / 32床
- 診療科目 / 小児科・整形外科・麻酔科・リハビリテーション科・歯科・内視鏡内科



医療・福祉サービスのご案内

01

一般外来

地域の一般診察はもとより、障害児者も同様に診察を行います。



02

内視鏡内科

腹部エコー検査、胃・大腸カメラ検査、治療を専門医師が行います。



03

小児発達外来

子どもの発達の遅れや行動に関する診察や診断、治療、リハビリテーションを行います。



04

歯科

特別な対応が必要な障害児者の方々、当院で入院中でお口のトラブルを抱えている方々を対象に歯科治療や口腔ケアを行います。



05

整形手術

脳性麻痺、脳卒中後遺症の方等、筋緊張拘縮を認める方を対象とした手術を行います。

※術式:整形外科的選択的痙性コントロール手術(OSSCS)



介護保険事業

- 通所リハビリテーション
介護予防通所リハビリテーション事業
- 訪問リハビリテーション
介護予防訪問リハビリテーション
- 居宅療養管理指導事業



スタッフ

医師/看護師/介護福祉士/理学療法士/作業療法士/言語聴覚士/薬剤師/診療放射線技師/管理栄養士/社会福祉士/臨床心理士/事務員

06

リハビリテーション

障害に伴う日常生活に支障のある方を対象に、理学療法、作業療法、言語聴覚療法を行います。医療保険における入院、外来、訪問リハビリ、介護保険での短時間通所(1~2時間程度)を提供しております。



地域交流ホールのご案内

当病院7階の地域交流ホールは、病院内職員の学術研修や患者団体の協議会、地域住民の交流会等に活用していただくため、整備してあります。利用ルールを順守して頂いた上で、積極的にご活用ください。

□設備について

病院7階
ホール面積/175.43㎡
備品/長テーブル6卓、椅子40脚

□利用時間

平日(月~金)
10:00~12:00、
15:00~17:00
※土・日の利用希望については、利用内容により利用許可をいたします。

□利用対象

当ホールを利用できる方は以下のとおりです。
◎病院関係・医療福祉関係団体 ◎地区住民(甲南地区)
◎患者団体 ◎その他

□施設使用料

◎病院関係者・団体/1時間500円(税別)
◎地区住民(甲南地区)/無料

※利用お申込み、利用ルールの詳細につきましてはお問い合わせ下さい。



お問い合わせ先 ひまわり病院(代表) TEL.099(252)5166 ※一般外来以外は全て予約制となっております。

○入院、医療・福祉サービスに関してのご相談、お問い合わせは ひまわり病院地域連携室 TEL.099(814)7376(直通)